

(別紙1)

平成29年度～平成33年度  
社会福祉法人延岡市社会福祉協議会 社会福祉充実計画

**1. 基本的事項**

法人名	社会福祉法人 延岡市社会福祉協議会		法人番号	5350005002877				
法人代表者氏名	柳田 泰宏							
法人の主たる所在地	宮崎県延岡市三ツ瀬町1丁目12番地4							
連絡先	0982-32-6555							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年5月26日							
評議員会の承認年月日	平成29年6月12日							
会計年度別の社会福祉充 実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	35,110 千円	34,894 千円	11,800 千円	4,000 千円	2,000 千円	0千円		0千円
	うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		▲216 千円	▲23,094 千円	▲7,800 千円	▲2,000 千円	▲2,000 千円	▲35,110 千円
本計画の対象期間	平成29年8月1日～平成34年3月31日							

**2. 事業計画**

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	社会福祉充実計画の税理士等の確認事業	社会福祉事業	既存	社会福祉充実計画の税理士等の確認(意見聴取)費用	無	216千円
						小計
2か年度目	延岡市社会福祉センター利便性向上事業	社会福祉事業	既存	延岡市社会福祉センターの一体的活用、利便性の拡大及び利用者からの駐車場の拡大の意見などから、隣接する老朽化した福祉機器センターを解体して、駐車場の拡充を行うと同時に、高齢者、障がい者等のために雨天時でも駐車しやすい環境整備のためにカーポートの増設を行う。 併せて、当日開催の会議、研修等を表示する電光掲示板を導入する。これによって、高齢者、障害を持たれている方などに対して誘導できる。また、福祉情報がリアルタイムに見やすくでき、他の情報提供も可能となる。	有	18,094千円

	福祉サービス向上事業	社会福祉事業	既存	全職員対象の定期健康受診の内容を精度の高い健康診断として人間ドックによる健診を推奨し、健康な状態を維持、又は病気等の早期発見に努め、職員の離職率の低下につなげつつ、福祉サービスの向上につなげる。 なお、当法人に在籍する職員の健康診断を2か年で実施することとし、この時の費用のうち、上限60,000円を法人の補助とする。	無	3,000 千円
	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	2,000 千円
	小計					23,094 千円
3か年度目	延岡市社会福祉センター利便性向上事業	社会福祉事業	既存	延岡市社会福祉センターの一体的活用、利便性の拡大及び利用者からの駐車場の拡大の意見などから、隣接する老朽化した福祉機器センターを解体して、駐車場の拡充を行うと同時に、高齢者、障がい者等のために雨天時でも駐車しやすい環境整備のためにカーポートの増設を行う。	有	2,800 千円
	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	2,000 千円
	福祉サービス向上事業	社会福祉事業	既存	全職員対象の定期健康受診の内容を精度の高い健康診断として人間ドックによる健診を推奨し、健康な状態を維持、又は病気等の早期発見に努め、職員の離職率の低下につなげつつ、福祉サービスの向上につなげる。 なお、当法人に在籍する職員の健康診断を2か年で実施することとし、この時の費用のうち、上限60,000円を法人の補助とする。	無	3,000 千円
	小計					7,800 千円
4か年度目	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	2,000 千円
	小計					2,000 千円
5か年度目	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	2,000 千円
	小計					2,000 千円
合計						35,110 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

### 3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<p>高齢者、障がい者をはじめとした地域住民の方々が延岡市社会福祉センターを利用していることから利便性の拡大並びに一体的活用のために、駐車場の拡充とカーポートの設置、並びに利用者にわかりやすい情報案内のための電光掲示板の設置といった取り組みを行うこととした。</p> <p>また、地域福祉の増進拡充のための高齢者や障がい者の緊急時に備えた取り組みとして実施している「安心カード」の事業を、さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ、安心カード配布を拡大することで、万が一のための早期対応を行う支援拡充の取り組みを行うこととした。</p> <p>ほかにも、利用者等に対する福祉サービスの向上のためには、職員の健康維持を図る必要があることから、職員に対して質の高い健康診断の受診勧奨の取り組みを行うこととした。</p>
② 地域公益事業	①の取り組みを実施する結果、残額は生じないため、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取り組みを実施する結果、残額は生じないため、実施はしない。

### 4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
社会福祉充実計画の税理士等の確認事業	計画の実施期間における事業費合計	216千円	0千円	0千円	0千円	0千円	216千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	216千円					216千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
延岡市社会福祉センター利便性向上事業	計画の実施期間における事業費合計	0千円	18,094千円	2,800千円	0千円	0千円	20,894千円	
	財源構成	社会福祉充実残額		18,094千円	2,800千円			20,894千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
福祉サービス向上事業	計画の実施期間における事業費合計	0千円	3,000千円	3,000千円	0千円	0千円	6,000千円	
	財源構成	社会福祉充実残額		3,000千円	3,000千円			6,000千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
要援護者支援事業	計画の実施期間における事業費合計	0千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	8,000千円
	財源構成						
	社会福祉充実残額		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	8,000千円
	補助金						
	借入金						
	事業収益						
	その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

## 5. 事業の詳細

事業名	社会福祉充実計画の税理士等の確認事業	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	延岡市内	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成30年3月31日	
事業内容	社会福祉充実計画の税理士等の確認（意見聴取）	
事業の実施スケジュール	1か年度目	社会福祉充実計画の税理士等の確認（意見聴取）
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 （概算）	社会福祉充実計画の税理士等の確認（意見聴取）業務委託料：216千円	
	合計	216千円（うち社会福祉充実残額充当額216千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	延岡市社会福祉センター利便性向上事業	
主な対象者	延岡市民	
想定される対象者数	約14,000人	
事業の実施地域	延岡市内	
事業の実施時期	平成30年4月1日～平成32年3月31日	
事業内容	<p>延岡市社会福祉センターの一体的活用、利便性の拡大及び利用者からの駐車場の拡大の意見などから、隣接する老朽化した福祉機器センターを解体して、駐車場の拡充を行うと同時に、高齢者、障がい者等のために雨天時でも駐車しやすい環境整備のためにカーポートの増設を行う。</p> <p>併せて、当日開催の会議、研修等を表示する電光掲示板を導入する。これによって、高齢者、障害を持たれている方などに対して誘導できる。また、福祉情報がリアルタイムに見やすくでき、他の情報提供も可能となる。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	駐車場拡充工事の実施、カーポート設置工事、電光掲示板（案内板）設置工事
	3か年度目	駐車場カーポートの設置工事
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 （概算）	福祉機器センター解体工事、駐車場整備工事：14,000千円	
	カーポート設置工事：4,800千円	
	電光掲示板（案内板）設置工事：2,094千円	
	合計	20,894千円（うち社会福祉充実残額充当額20,894千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	福祉サービス向上事業	
主な対象者	当法人に在籍する職員	
想定される対象者数	100人（全職員対象）	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成30年4月1日～平成32年3月31日	
事業内容	<p>全職員対象の定期健康受診の内容を精度の高い健康診断として人間ドックによる健診を推奨し、健康な状態を維持、又は病気等の早期発見に努め、職員の離職率の低下につなげつつ、福祉サービスの向上につなげる。</p> <p>なお、当法人に在籍する職員の健康診断を2か年で実施することとし、この時の費用のうち、上限60,000円を法人の補助とする。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	全職員のうち $\frac{1}{2}$ を対象に健診費用を補助
	3か年度目	全職員のうち $\frac{1}{2}$ を対象に検診費用を補助
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	60千円（上限額）×職員100人× $\frac{1}{2}$ （全職員のうち半数）×2か年 = 6,000千円	
	合計	6,000千円（うち社会福祉充実残額充当額6,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

事業名	要援護者支援事業	
主な対象者	独居高齢者、障がい者世帯等の要援護者世帯	
想定される対象者数	10,000世帯	
事業の実施地域	延岡市内	
事業の実施時期	平成30年4月1日～平成34年3月31日	
事業内容	<p>もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
	3か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
	4か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
	5か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
事業費積算 (概算)	2,500世帯（単年度目標）×4年間×800円（カード等購入費用）=8,000千円	
	合計	8,000千円（うち社会福祉充実残額充当額8,000千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

**6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由**

--